

エリキュース錠服用中の注意

- 歯の治療・手術・内視鏡検査ないしきょうを受ける予定があるときは、事前に主治医に相談しましょう。

大きな手術の前には、エリキュース錠を中止しておく必要があります。また、服用の再開についても確認しておいてください。

- 他院や他科を受診するときは、エリキュース錠を服用していることを医師にお伝えください。

安全に治療を行ううえで大切な情報です。

妊娠を希望する場合や妊娠に気づいた場合は、すぐに医師へご相談ください。

- 他の薬を処方されるときや薬局などで他の薬を購入するときは、エリキュース錠を服用していることを医師や薬剤師にお伝えください。

エリキュース錠には併用を注意すべき薬があります。

- 飲み忘れたときは、すぐに1回量を服用してください。

エリキュース錠は、1日2回（朝・晩）服用します。食前・食後どちらの服用も可能です。時間を決めて、毎日同じ時間帯に服用しましょう。

あつ！
いけねっ！



飲み忘れに
気づいたら…



すぐに1回量を
服用してください。



次は、通常どおり
服用してください。



一度に2回分を服用しないでください。

ブリistol・マイヤーズ スクイブ 株式会社

ファイザー株式会社



エリキュース錠を服用される 患者さんへ



エリキュース錠はこのような患者さんに処方されます。

しんぼうさいどう
心房細動の患者さん

けっせん
血栓ができるのを防ぎ、脳梗塞を予防

じょうみやくけっせんをくせんとしよう
静脈血栓塞栓症の患者さん

発症したときの治療と再発の予防

エリキュース錠を服用される患者さんへ



エリキュース錠の服用中は、出血したときに血が止まりにくくなっています。頭蓋骨の内部の出血や消化管の出血など重大な出血が起こることがあります。以下のような症状が現れた場合には、すぐに主治医に連絡してください。

この他にも気になる症状が現れた場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

はげしい頭痛、マヒ、
ろれつが回らない



喀血・吐血※
(血を吐く)

血尿や血便
(黒色便、赤い鮮血便)



※喀血：呼吸器からの出血で、せきとともに吐き出される。

吐血：消化管からの出血で、嘔吐物に混じっている。

【重要】エリキュース錠の服用を続けることが肝心です。

このお薬は、毎日服用を続けることで、血栓がができるのを予防します。医師・薬剤師の指示に従い、自分で服用方法を変えたり、服用をやめたりしないようにしましょう。

禁止 絶対にしないでください

自分の判断で、
服用をやめること
服用回数を減らすこと

服用中は出血しないように
注意しましょう。

エリキュース錠の服用中は、歯ぐきからの出血、鼻血、皮下出血(あおあざ)が起こりやすくなります。歯みがきや鼻かみはやさしく行い、刃物などを使用するとき(ひげ剃りなど)は、出血しないよう注意してください。けがをするおそれのある運動や作業は避けましょう。異常な出血の徴候(きざし)が認められたときは、医師に連絡してください。

出血時に家庭でできる応急処置

■ 鼻血のとき

前かがみで、鼻をつまみます。
脱脂綿やティッシュを鼻に
詰めるとよいでしょう。



■ けがや打撲で出血したとき

清潔なガーゼやハンカチなど
を傷口に当て、圧迫して止血
します。



エリキュース錠の服用
中は、間質性肺疾患
が現れることがありま
す。右記のような症状
がみられた場合は、
すぐに医師に相談し
てください。

間質性肺疾患
(から咳、呼吸困難、
血の混じった痰、発熱)

